

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年11月16日～2050年9月16日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
投資制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	隔月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行われないことがあります。
	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行われないことがあります。

NWQグローバル厳選証券ファンド

（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）
（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型）
（愛称：選択の達人）

運用報告書（全体版）

隔月分配型

（第29期（決算日 2023年11月17日）
第30期（決算日 2024年1月17日）
第31期（決算日 2024年3月18日）

資産成長型 第11期（決算日 2024年3月18日）
（作成対象期間 2023年9月20日～2024年3月18日）

■信託期間終了日を2028年9月15日から2050年9月16日に変更しました。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3379>
<3380>
<3381>
<3382>

為替ヘッジあり／隔月分配型

最近15期の運用実績

決算期	基準価額				公社債組入率	投資信託比率	純資産額
	(分配落)	税金	込金	騰落率			
	円	円	%		%	%	百万円
17期末 (2021年11月17日)	10,713	30	△	1.0	—	99.4	1,221
18期末 (2022年1月17日)	10,664	30	△	0.2	—	99.2	1,223
19期末 (2022年3月17日)	9,977	30	△	6.2	—	99.4	1,093
20期末 (2022年5月17日)	9,422	30	△	5.3	—	99.2	1,038
21期末 (2022年7月19日)	9,076	30	△	3.4	—	99.4	989
22期末 (2022年9月20日)	9,043	30	△	0.0	—	99.5	985
23期末 (2022年11月17日)	8,920	30	△	1.0	—	99.0	929
24期末 (2023年1月17日)	9,093	30		2.3	—	99.4	943
25期末 (2023年3月17日)	8,658	30	△	4.5	—	99.0	877
26期末 (2023年5月17日)	8,616	30	△	0.1	—	99.2	865
27期末 (2023年7月18日)	8,726	30		1.6	—	99.0	863
28期末 (2023年9月19日)	8,543	30	△	1.8	—	99.5	845
29期末 (2023年11月17日)	8,420	30	△	1.1	—	99.3	843
30期末 (2024年1月17日)	8,689	30		3.6	—	99.3	966
31期末 (2024年3月18日)	8,624	30	△	0.4	0.0	99.3	1,004

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

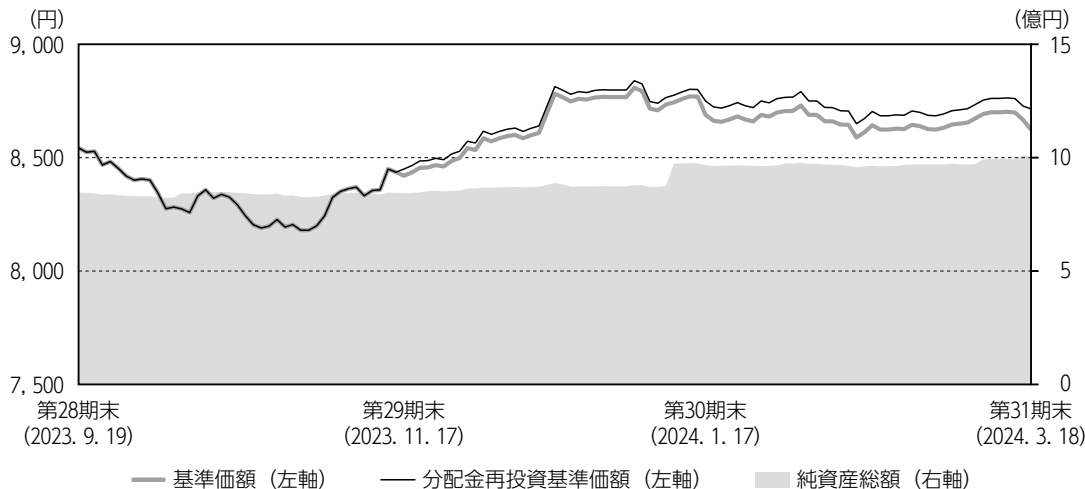
(注3) 公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第29期首：8,543円

第31期末：8,624円（既払分配金90円）

騰落率：2.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」で保有している投資適格社債やハイイールド債券、株式などが上昇したこ

とがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
第29期	(期 首) 2023年 9月19日	円	%	%	%
	9月末	8,543	—	—	99.5
	10月末	8,406	△ 1.6	—	99.2
	(期 末) 2023年11月17日	8,180	△ 4.2	—	99.4
第30期	(期 首) 2023年11月17日	8,450	△ 1.1	—	99.3
	11月末	8,420	—	—	99.3
	12月末	8,542	1.4	—	98.9
	(期 末) 2024年 1月17日	8,808	4.6	—	99.4
第31期	(期 首) 2024年 1月17日	8,719	3.6	—	99.3
	1月末	8,689	—	—	99.3
	2月末	8,705	0.2	—	98.3
	(期 末) 2024年 3月18日	8,624	△ 0.7	—	99.1
		8,654	△ 0.4	0.0	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2023. 9. 20 ～ 2024. 3. 18）

海外金融市況

海外金融市場では、投資適格社債やハイイールド債券、株式は堅調に推移し、国債金利はおおむね横ばいとなりました。

株式市場は、当作成期首より、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利の上昇などが嫌気され、2023年10月末にかけて下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことと述べたことを受けて利下げ観測が高まったこと、半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、大きく上昇して当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、良好な米国経済指標が確認されたことや米国国債の需給悪化などが嫌気され、2023年10月末にかけて金利は上昇（債券価格は下落）しました。しかし11月には、F R Bが政策金利を据え置いたことや、米国および欧州地域の一部の国でインフレ関連指標が市場予想を下回る結果となったことなどから、金利は大きく低下（債券価格は上昇）しました。12月も、F R Bが政策金利やインフレの見通しを引き下げたことから、金利は低下基調となりました。2024年に入ってから、市場予想を上回る経済指標などを受けて過度な利下げ織り込みが後退したことで、金利は長期主導で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される

転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 9. 20 ~ 2024. 3. 18)

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第29期	第30期	第31期
	2023年9月20日 ～2023年11月17日	2023年11月18日 ～2024年1月17日	2024年1月18日 ～2024年3月18日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.36	0.34	0.35
当期の収益 (円)	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,028	1,044	1,051

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第29期	第30期	第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 37.83円	✓ 45.21円	✓ 35.71円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	505.18	571.10	600.67
(d) 分配準備積立金	515.08	458.63	445.41
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,058.10	1,074.94	1,081.81
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,028.10	1,044.94	1,051.81

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第29期～第31期 (2023. 9. 20～2024. 3. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	48円	0.557%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,549円です。
（投 信 会 社）	(14)	(0.163)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(33)	(0.381)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	48	0.561	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

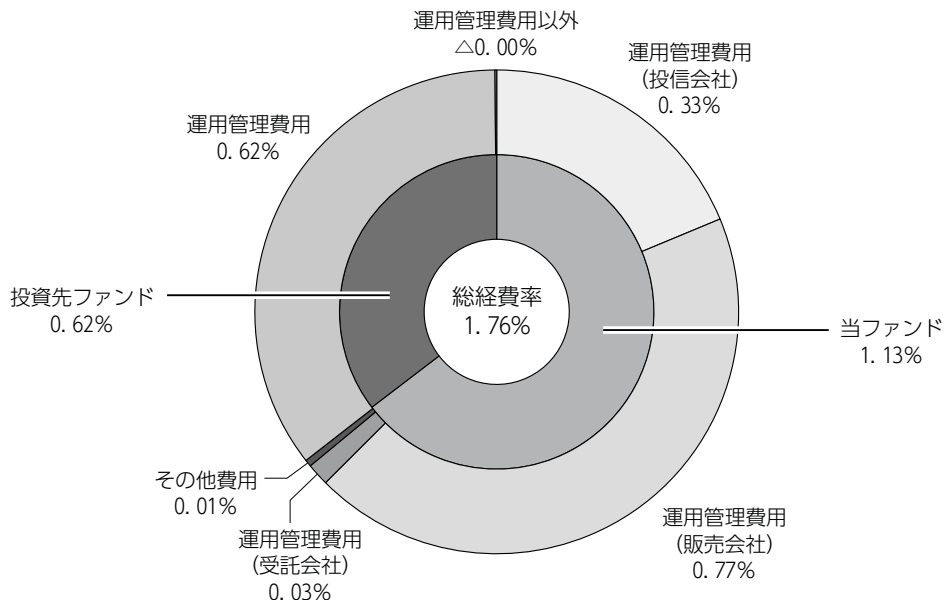
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.76%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	△0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注9) 投資先ファンドの運用管理費用以外は、当初積み立てた見積費用よりも実際の費用がかからなかったことから、マイナスの費用（収入）となっています。

■売買および取引の状況 投資信託受益証券

（2023年9月20日から2024年3月18日まで）

決 算 期		第 29 期 ～ 第 31 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	2,519.261219	202,463	641.75069	50,970

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 31 期 末		
	□ 数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	12,419.356963	998,081	99.3

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 28 期 末	第 31 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	180	180	183

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年3月18日現在

項 目	第 31 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	998,081	96.9
ダイワ・マネー・マザーファンド	183	0.0
コール・ローン等、その他	31,689	3.1
投資信託財産総額	1,029,954	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年11月17日)、(2024年1月17日)、(2024年3月18日)現在

項 目	第29期末	第30期末	第31期末
(A) 資産	847,577,938円	971,924,281円	1,049,354,354円
コール・ローン等	10,089,284	11,502,013	31,689,112
投資信託受益証券（評価額）	837,305,034	960,238,648	998,081,622
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	183,620	183,620	183,620
未収入金	—	—	19,400,000
(B) 負債	4,538,233	5,109,643	44,447,137
未払金	—	—	38,800,000
未払収益分配金	3,003,805	3,337,935	3,495,842
未払解約金	—	97,959	286,875
未払信託報酬	1,523,312	1,650,590	1,827,913
その他未払費用	11,116	23,159	36,507
(C) 純資産総額（A－B）	843,039,705	966,814,638	1,004,907,217
元本	1,001,268,510	1,112,645,211	1,165,280,926
次期繰越損益金	△ 158,228,805	△ 145,830,573	△ 160,373,709
(D) 受益権総口数	1,001,268,510口	1,112,645,211口	1,165,280,926口
1万口当り基準価額（C／D）	8,420円	8,689円	8,624円

* 当作成期首における元本額は990,080,927円、当作成期間（第29期～第31期）中における追加設定元本額は244,786,661円、同解約元本額は69,586,662円です。

* 第31期末の計算口数当りの純資産額は8,624円です。

* 第31期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は160,373,709円です。

■損益の状況

第29期 自2023年9月20日 至2023年11月17日 第30期 自2023年11月18日 至2024年1月17日 第31期 自2024年1月18日 至2024年3月18日

項 目	第29期	第30期	第31期
(A) 配当等収益	5,322,745円	5,315,342円	6,003,582円
受取配当金	5,323,029	5,315,636	6,003,677
支払利息	△ 284	△ 294	△ 95
(B) 有価証券売買損益	12,191,163	25,687,160	8,240,293
売買益	657,301	26,447,268	67,054
売買損	△ 12,848,464	△ 760,108	△ 8,307,347
(C) 信託報酬等	1,534,428	1,662,633	1,841,261
(D) 当期損益金（A+B+C）	8,402,846	29,339,869	4,077,972
(E) 前期繰越損益金	168,567,563	175,406,317	147,083,242
(F) 追加信託差損益金	21,745,409	3,573,810	5,716,653
（配当等相当額）	（ 50,582,480）	（ 63,543,260）	（ 69,995,967）
（売買損益相当額）	（△ 28,837,071）	（△ 59,969,450）	（△ 75,712,620）
(G) 合計（D+E+F）	155,225,000	142,492,638	156,877,867
(H) 収益分配金	3,003,805	3,337,935	3,495,842
次期繰越損益金（G+H）	158,228,805	145,830,573	160,373,709
追加信託差損益金	21,745,409	3,573,810	5,716,653
（配当等相当額）	（ 50,582,480）	（ 63,543,260）	（ 69,995,967）
（売買損益相当額）	（△ 28,837,071）	（△ 59,969,450）	（△ 75,712,620）
分配準備積立金	52,358,659	52,722,185	52,569,571
繰越損益金	△ 232,332,873	△ 202,126,568	△ 207,226,627

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第29期	第30期	第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,788,317円	5,030,366円	4,162,321円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収益調整金	50,582,480	63,543,260	69,995,967
(d) 分配準備積立金	51,574,147	51,029,754	51,903,092
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	105,944,944	119,603,380	126,061,380
(f) 分配金	3,003,805	3,337,935	3,495,842
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	102,941,139	116,265,445	122,565,538
(h) 受益権総口数	1,001,268,510口	1,112,645,211口	1,165,280,926口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金（税込み）	第29期	第30期	第31期
	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■信託期間の延長について

信託期間終了日を2028年9月15日から2050年9月16日に変更しました。

為替ヘッジなし／隔月分配型

最近15期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入率	投資信託比率	純資産額
	(分配落)	税金込	騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
17期末 (2021年11月17日)	10,736	70	3.5	—	99.0	7,658
18期末 (2022年1月17日)	10,583	70	△ 0.8	—	99.2	8,460
19期末 (2022年3月17日)	10,283	70	△ 2.2	—	99.1	8,570
20期末 (2022年5月17日)	10,555	70	3.3	—	99.2	9,102
21期末 (2022年7月19日)	10,906	70	4.0	—	99.1	9,432
22期末 (2022年9月20日)	11,240	70	3.7	—	99.0	9,976
23期末 (2022年11月17日)	10,849	80	△ 2.8	—	99.4	9,771
24期末 (2023年1月17日)	10,179	80	△ 5.4	—	99.3	9,215
25期末 (2023年3月17日)	10,142	80	0.4	—	99.3	9,215
26期末 (2023年5月17日)	10,415	80	3.5	—	99.2	9,695
27期末 (2023年7月18日)	10,763	80	4.1	—	99.0	10,174
28期末 (2023年9月19日)	11,322	80	5.9	—	99.1	11,132
29期末 (2023年11月17日)	11,414	90	1.6	—	99.2	11,917
30期末 (2024年1月17日)	11,595	90	2.4	—	99.4	12,510
31期末 (2024年3月18日)	11,741	90	2.0	0.0	99.2	13,726

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

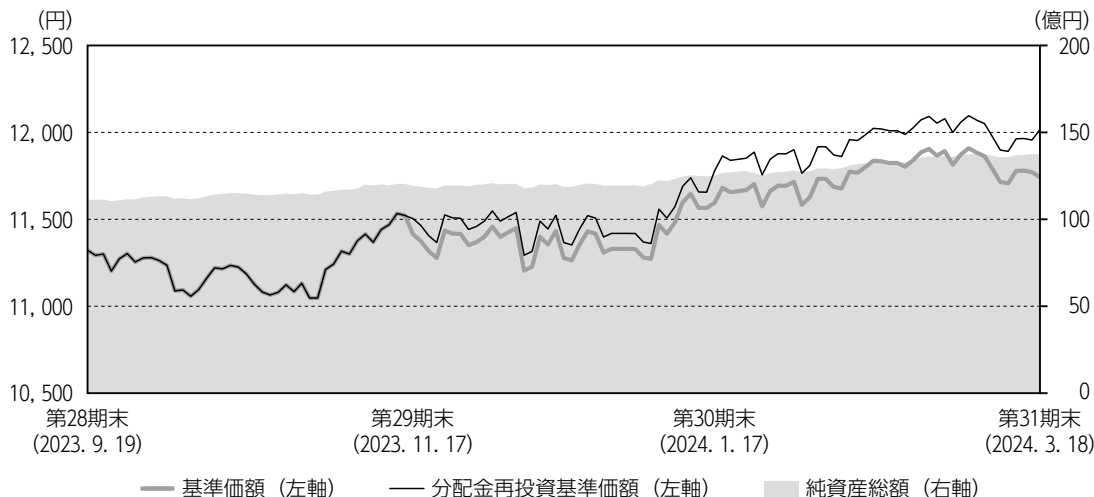
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第29期首：11,322円

第31期末：11,741円（既払分配金270円）

騰落率：6.1%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」で保有している投資適格社債やハイイールド債券、株式などが上昇したこ

とに加え、円安米ドル高が進んだことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー—ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
第29期	(期 首) 2023年 9月19日	円	%	%	%
	9 月末	11,322	—	—	99.1
	10月末	11,280	△ 0.4	—	99.0
	(期 末) 2023年11月17日	11,047	△ 2.4	—	99.0
第30期	(期 首) 2023年11月17日	11,504	1.6	—	99.2
	11月末	11,414	—	—	99.2
	12月末	11,369	△ 0.4	—	98.9
	(期 末) 2024年 1月17日	11,281	△ 1.2	—	99.2
第31期	(期 首) 2024年 1月17日	11,685	2.4	—	99.4
	1 月末	11,595	—	—	99.4
	2 月末	11,716	1.0	—	99.0
	(期 末) 2024年 3月18日	11,892	2.6	—	99.0
		11,831	2.0	0.0	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2023. 9. 20 ～ 2024. 3. 18）

海外金融市況

海外金融市場では、投資適格社債やハイイールド債券、株式は堅調に推移し、国債金利はおおむね横ばいとなりました。

株式市場は、当作成期首より、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利の上昇などが嫌気され、2023年10月末にかけて下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことと述べたことを受けて利下げ観測が高まったこと、半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、大きく上昇して当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、良好な米国経済指標が確認されたことや米国国債の需給悪化などが嫌気され、2023年10月末にかけて金利は上昇（債券価格は下落）しました。しかし11月には、F R Bが政策金利を据え置いたことや、米国および欧州地域の一部の国でインフレ関連指標が市場予想を下回る結果となったことなどから、金利は大きく低下（債券価格は上昇）しました。12月も、F R Bが政策金利やインフレの見通しを引き下げたことから、金利は低下基調となりました。2024年に入ってから、市場予想を上回る経済指標などを受けて過度な利下げ織り込みが後退したことで、金利は長期主導で上昇しました。

為替相場

米ドル円為替相場は上昇（円安）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、上昇しました。しかし2023年11月以降は、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を背景に、米ドルは対円で下落（円高）しました。2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じました。当作成期末にかけても、日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどを受けて、円安米ドル高基調となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 9. 20 ~ 2024. 3. 18)

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第29期	第30期	第31期
	2023年9月20日 ～2023年11月17日	2023年11月18日 ～2024年1月17日	2024年1月18日 ～2024年3月18日
当期分配金(税込み) (円)	90	90	90
対基準価額比率 (%)	0.78	0.77	0.76
当期の収益 (円)	90	90	90
当期の収益以外 (円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,920	2,105	2,237

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第29期	第30期	第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 94.93円	✓ 98.35円	✓ 95.58円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	92.33	174.60	124.13
(c) 収益調整金	1,000.98	1,047.46	1,160.43
(d) 分配準備積立金	822.52	874.75	946.91
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,010.77	2,195.17	2,327.06
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,920.77	2,105.17	2,237.06

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第29期～第31期 (2023. 9. 20～2024. 3. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	64円	0.557%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,464円です。
(投 信 会 社)	(19)	(0.163)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(44)	(0.381)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	64	0.561	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

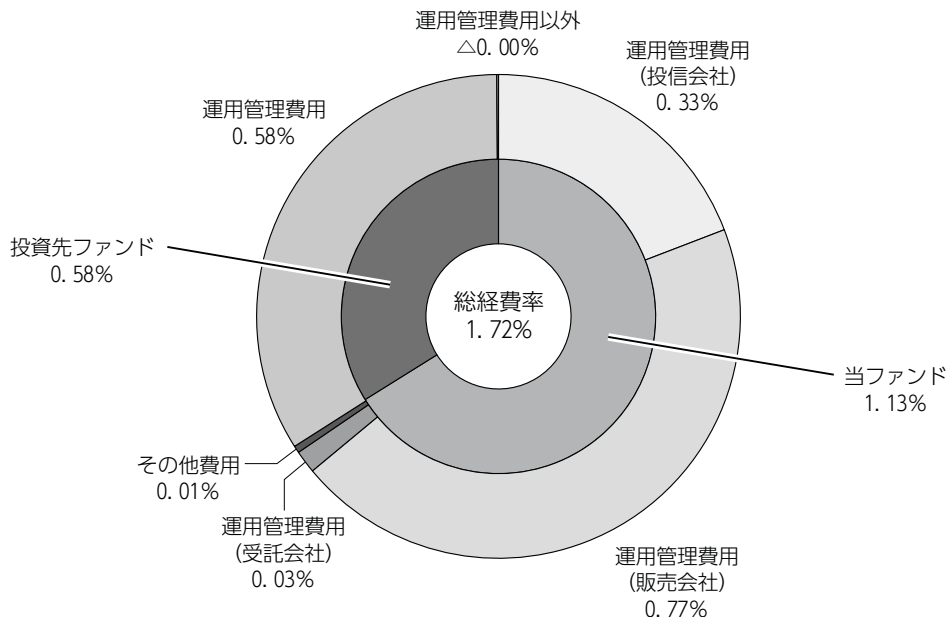
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まれます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.72%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	△0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注9) 投資先ファンドの運用管理費用以外は、当初積み立てた見積費用よりも実際の費用がかからなかったことから、マイナスの費用（収入）となっています。

■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2023年9月20日から2024年3月18日まで)

決 算 期		第 29 期 ～ 第 31 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	23,085.94832	2,447,878	3,115.844287	330,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファン ド 名	第 31 期 末		
	□ 数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON- HEDGED DISTRIBUTION CLASS	125,825.615673	13,618,609	99.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 28 期 末	第 31 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	737	737	749

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年3月18日現在

項 目	第 31 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	13,618,609	97.9
ダイワ・マネー・マザーファンド	749	0.0
コール・ローン等、その他	292,055	2.1
投資信託財産総額	13,911,414	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2023年11月17日）、（2024年1月17日）、（2024年3月18日）現在

項 目	第29期末	第30期末	第31期末
(A) 資産	12,097,561,716円	12,652,054,768円	13,961,414,645円
コール・ローン等	240,093,280	218,060,362	292,055,508
投資信託受益証券（評価額）	11,826,718,985	12,433,244,955	13,618,609,686
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	749,451	749,451	749,451
未収入金	30,000,000	—	50,000,000
(B) 負債	180,262,956	141,406,137	234,522,558
未払金	60,000,000	—	100,000,000
未払収益分配金	93,967,568	97,106,837	105,224,380
未払解約金	5,336,787	21,397,913	3,998,141
未払信託報酬	20,806,387	22,583,959	24,801,164
その他未払費用	152,214	317,428	498,873
(C) 純資産総額（A－B）	11,917,298,760	12,510,648,631	13,726,892,087
元本	10,440,840,948	10,789,648,633	11,691,597,883
次期繰越損益金	1,476,457,812	1,720,999,998	2,035,294,204
(D) 受益権総口数	10,440,840,948口	10,789,648,633口	11,691,597,883口
1万口当り基準価額（C/D）	11,414円	11,595円	11,741円

* 当作成期首における元本額は9,833,042,785円、当作成期間（第29期～第31期）中における追加設定元本額は2,565,447,016円、同解約元本額は706,891,918円です。

* 第31期末の計算口数当りの純資産額は11,741円です。

■損益の状況

第29期 自2023年9月20日 至2023年11月17日 第30期 自2023年11月18日 至2024年1月17日 第31期 自2024年1月18日 至2024年3月18日

項 目	第29期	第30期	第31期
(A) 配当等収益	109,746,678円	114,319,436円	122,618,003円
受取配当金	109,753,046	114,322,935	122,620,240
受取利息	6	4	14
支払利息	△ 6,374	△ 3,503	△ 2,251
(B) 有価証券売買損益	106,735,381	202,945,588	159,252,810
売買益	107,630,612	203,143,695	162,570,877
売買損	△ 895,231	△ 198,107	△ 3,318,067
(C) 信託報酬等	20,958,601	22,749,173	24,982,609
(D) 当期損益金（A+B+C）	195,523,458	294,515,851	256,888,204
(E) 前期繰越損益金	858,781,116	943,827,641	1,107,091,817
(F) 追加信託差損益金	516,120,806	579,763,343	776,538,563
（配当等相当額）	（ 1,045,112,685）	（ 1,130,176,926）	（ 1,356,730,653）
（売買損益相当額）	（△ 528,991,879）	（△ 550,413,583）	（△ 580,192,090）
(G) 合計（D+E+F）	1,570,425,380	1,818,106,835	2,140,518,584
(H) 収益分配金	93,967,568	97,106,837	105,224,380
次期繰越損益金（G+H）	1,476,457,812	1,720,999,998	2,035,294,204
追加信託差損益金	516,120,806	579,763,343	776,538,563
（配当等相当額）	（ 1,045,112,685）	（ 1,130,176,926）	（ 1,356,730,653）
（売買損益相当額）	（△ 528,991,879）	（△ 550,413,583）	（△ 580,192,090）
分配準備積立金	960,337,006	1,141,236,655	1,258,755,641

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第29期	第30期	第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	99,120,649円	106,122,899円	111,750,566円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	96,402,809	188,392,952	145,137,638
(c) 収益調整金	1,045,112,685	1,130,176,926	1,356,730,653
(d) 分配準備積立金	858,781,116	943,827,641	1,107,091,817
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	2,099,417,259	2,368,520,418	2,720,710,674
(f) 分配金	93,967,568	97,106,837	105,224,380
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	2,005,449,691	2,271,413,581	2,615,486,294
(h) 受益権総口数	10,440,840,948□	10,789,648,633□	11,691,597,883□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金（税込み）	第29期	第30期	第31期
	90円	90円	90円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■信託期間の延長について

信託期間終了日を2028年9月15日から2050年9月16日に変更しました。

為替ヘッジあり／資産成長型

最近5期の運用実績

決算期	基準価額				公社債組入率	投資利益率	信託証券比率	純資産額
	(分配落)	税金	込	騰落率				
	円	円		%	%	%	百万円	
7期末（2022年3月17日）	10,604	0	△	7.2	—	99.0	907	
8期末（2022年9月20日）	9,703	0	△	8.5	—	99.3	775	
9期末（2023年3月17日）	9,383	0	△	3.3	—	98.8	758	
10期末（2023年9月19日）	9,354	0	△	0.3	—	99.1	692	
11期末（2024年3月18日）	9,541	0		2.0	0.0	95.3	712	

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

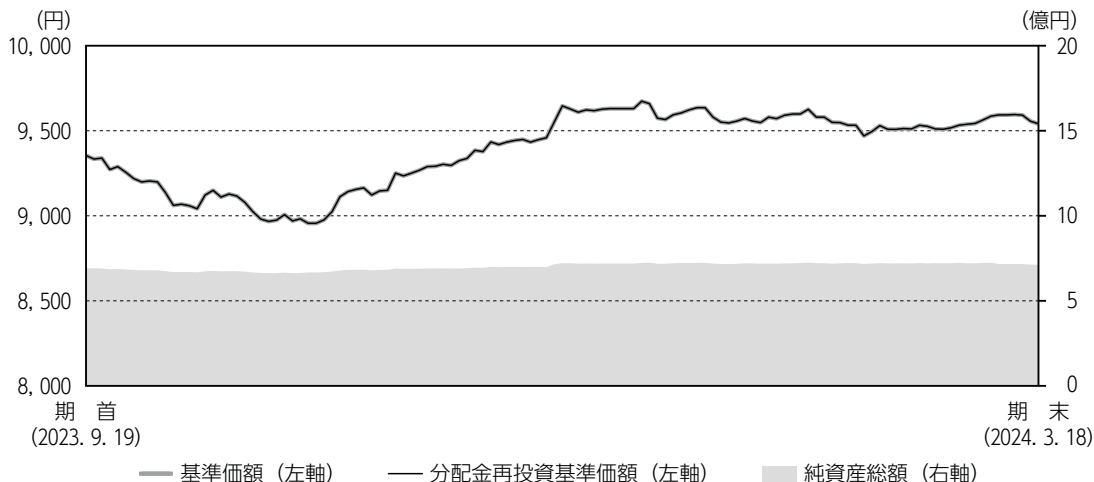
（注3）公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,354円

期末：9,541円（分配金0円）

騰落率：2.0%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」で保有している投資適格社債やハイイールド債券、株式などが上昇したこ

とがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー—ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	資 益 入 証 比	託 券 率
	騰 落 率	率					
(期 首) 2023年 9月19日	円 9,354	% —		% —			% 99.1
9 月末	9,205	△ 1.6		—			99.4
10月末	8,956	△ 4.3		—			98.6
11月末	9,385	0.3		—			99.3
12月末	9,674	3.4		—			99.3
2024年 1 月末	9,598	2.6		—			99.3
2 月末	9,509	1.7		—			99.3
(期 末) 2024年 3月18日	9,541	2.0		0.0			95.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2023. 9. 20 ～ 2024. 3. 18）

■海外金融市況

海外金融市場では、投資適格社債やハイイールド債券、株式は堅調に推移し、国債金利はおおむね横ばいとなりました。

株式市場は、当作成期首より、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利の上昇などが嫌気され、2023年10月末にかけて下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことと述べたことを受けて利下げ観測が高まったこと、半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、大きく上昇して当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、良好な米国経済指標が確認されたことや米国国債の需給悪化などが嫌気され、2023年10月末にかけて金利は上昇（債券価格は下落）しました。しかし11月には、F R Bが政策金利を据え置いたことや、米国および欧州地域の一部の国でインフレ関連指標が市場予想を下回る結果となったことなどから、金利は大きく低下（債券価格は上昇）しました。12月も、F R Bが政策金利やインフレの見通しを引き下げたことから、金利は低下基調となりました。2024年に入ってから、市場予想を上回る経済指標などを受けて過度な利下げ織り込みが後退したことで、金利は長期主導で上昇しました。

■前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される

転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 9. 20 ~ 2024. 3. 18)

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年9月20日 ～2024年3月18日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,851

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 9. 20～2024. 3. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	52円	0.557%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,391円です。
（投 信 会 社）	(15)	(0.163)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(36)	(0.381)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	53	0.561	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

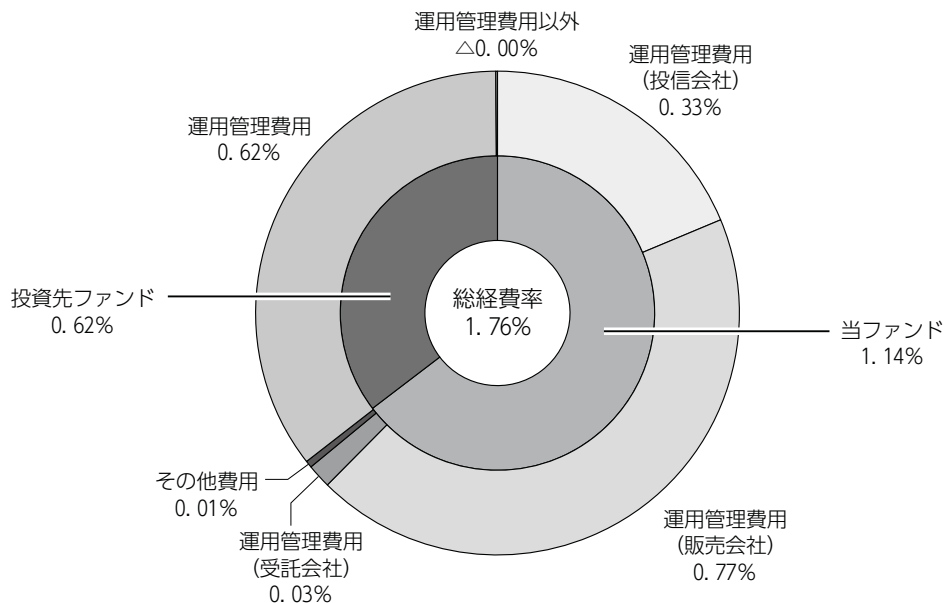
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まれます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.76%
①当ファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	△0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注9) 投資先ファンドの運用管理費用以外は、当初積み立てた見積費用よりも実際の費用がかからなかったことから、マイナスの費用（収入）となっています。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2023年9月20日から2024年3月18日まで)

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	千口 463.603826	千円 37,115	千口 621.931072	千円 49,990

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	千口 8,441.163925	千円 678,374	% 95.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	当期末		
	口数	口数	評価額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 95	千口 95	千円 96

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年3月18日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 678,374	% 94.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	96	0.0
コール・ローン等、その他	38,465	5.4
投資信託財産総額	716,936	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年3月18日現在

項目	当期末
(A) 資産	746,576,029円
コール・ローン等	8,825,091
投資信託受益証券（評価額）	678,374,139
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	96,800
未収入金	59,279,999
(B) 負債	34,540,045
未払金	29,640,000
未払解約金	959,200
未払信託報酬	3,912,312
その他未払費用	28,533
(C) 純資産総額（A－B）	712,035,984
元本	746,287,692
次期繰越損益金	△ 34,251,708
(D) 受益権総口数	746,287,692口
1万口当り基準価額（C/D）	9,541円

* 期首における元本額は740,586,799円、当作成期間中における追加設定元本額は41,173,816円、同解約元本額は35,472,923円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,541円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は34,251,708円です。

■損益の状況

当期 自2023年9月20日 至2024年3月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	12,851,625円
受取配当金	12,852,009
支払利息	△ 384
(B) 有価証券売買損益	4,691,422
売買益	5,100,381
売買損	△ 408,959
(C) 信託報酬等	△ 3,940,845
(D) 当期損益金 (A + B + C)	13,602,202
(E) 前期繰越損益金	△ 81,870,847
(F) 追加信託差損益金	34,016,937
(配当等相当額)	(50,130,008)
(売買損益相当額)	(△ 16,113,071)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 34,251,708
次期繰越損益金 (G)	△ 34,251,708
追加信託差損益金	34,016,937
(配当等相当額)	(50,130,008)
(売買損益相当額)	(△ 16,113,071)
分配準備積立金	88,054,506
繰越損益金	△ 156,323,151

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,964,562円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	50,130,008
(d) 分配準備積立金	78,089,944
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	138,184,514
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	138,184,514
(h) 受益権総口数	746,287,692口

《お知らせ》

■信託期間の延長について

信託期間終了日を2028年9月15日から2050年9月16日に変更しました。

為替ヘッジなし／資産成長型

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	債券組入比率	信託証券比率	純資産総額
	(分配落)	税金配込	期騰落率				
	円	円	%		%	%	百万円
7期末（2022年3月17日）	11,801	0	0.5	—	—	99.1	1,765
8期末（2022年9月20日）	13,151	0	11.4	—	—	99.2	2,282
9期末（2023年3月17日）	12,140	0	△ 7.7	—	—	99.0	2,253
10期末（2023年9月19日）	13,859	0	14.2	—	—	99.3	2,687
11期末（2024年3月18日）	14,714	0	6.2	0.0	—	98.2	3,357

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

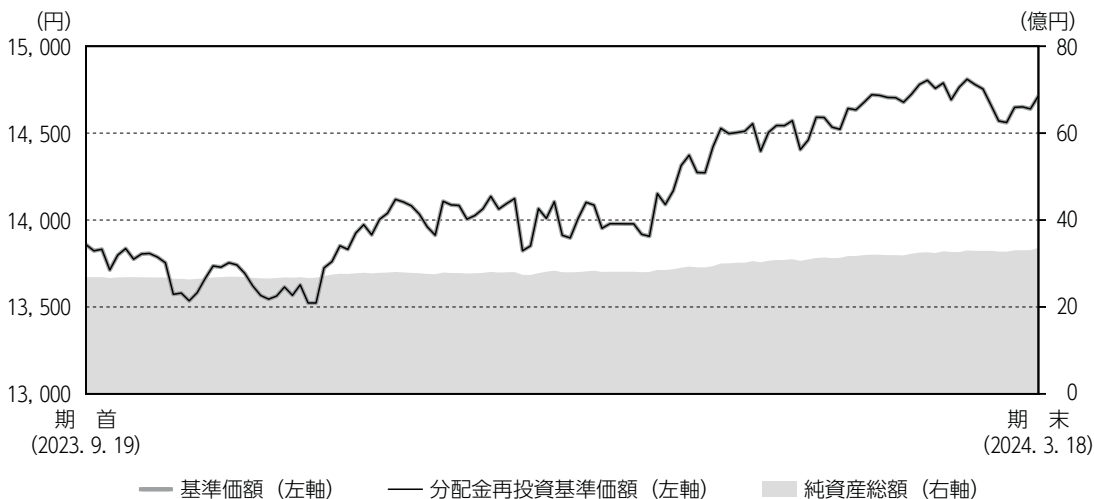
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：13,859円

期末：14,714円（分配金0円）

騰落率：6.2%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」で保有している投資適格社債やハイイールド債券、株式などが上昇したこ

とに加え、円安米ドル高が進んだことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 証 比	託 券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2023年 9月19日	13,859	—		—			99.3
9 月末	13,808	△ 0.4		—			99.1
10月末	13,523	△ 2.4		—			98.9
11月末	14,026	1.2		—			99.1
12月末	13,918	0.4		—			99.3
2024年 1 月末	14,571	5.1		—			99.1
2 月末	14,788	6.7		—			98.5
(期 末) 2024年 3月18日	14,714	6.2		0.0			98.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2023. 9. 20 ~ 2024. 3. 18）

■ 海外金融市況

海外金融市場では、投資適格社債やハイイールド債券、株式は堅調に推移し、国債金利はおおむね横ばいとなりました。

株式市場は、当作成期首より、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利の上昇などが嫌気され、2023年10月末にかけて下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことと述べたことを受けて利下げ観測が高まったこと、半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、大きく上昇して当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、良好な米国経済指標が確認されたことや米国国債の需給悪化などが嫌気され、2023年10月末にかけて金利は上昇（債券価格は下落）しました。しかし11月には、F R Bが政策金利を据え置いたことや、米国および欧州地域の一部の国でインフレ関連指標が市場予想を下回る結果となったことなどから、金利は大きく低下（債券価格は上昇）しました。12月も、F R Bが政策金利やインフレの見通しを引き下げたことから、金利は低下基調となりました。2024年に入ってから、市場予想を上回る経済指標などを受けて過度な利下げ織り込みが後退したことで、金利は長期主導で上昇しました。

■ 為替相場

米ドル円為替相場は上昇（円安）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、上昇しました。しかし2023年11月以降は、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を背景に、米ドルは対円で下落（円高）しました。2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じました。当作成期末にかけても、日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどを受けて、円安米ドル高基調となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2023. 9. 20 ~ 2024. 3. 18)

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2023年9月20日 ～2024年3月18日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	4,824

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 9. 20～2024. 3. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	79円	0.557%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は14,151円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0.163)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(54)	(0.381)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	79	0.562	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

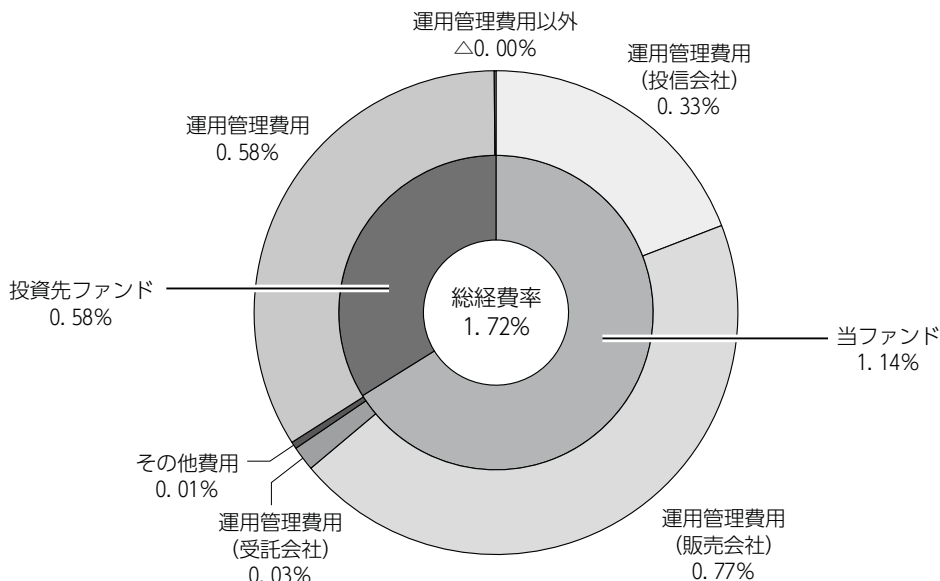
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.72%
①当ファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	△0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注9) 投資先ファンドの運用管理費用以外は、当初積み立てた見積費用よりも実際の費用がかからなかったことから、マイナスの費用（収入）となっています。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2023年9月20日から2024年3月18日まで）

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	5,521,01601	587,839	665,676939	69,820

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON- HEDGED DISTRIBUTION CLASS	30,463,036048	3,297,136	98.2

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
ダイワ・マネー・マザーファンド	337	337	343

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年3月18日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	3,297,136	97.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	343	0.0
コール・ローン等、その他	91,435	2.7
投資信託財産総額	3,388,915	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年3月18日現在

項目	当期末
(A) 資産	3,403,995,035円
コール・ローン等	91,435,501
投資信託受益証券（評価額）	3,297,136,243
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	343,291
未収入金	15,080,000
(B) 負債	46,670,441
未払金	30,160,000
未払解約金	243,358
未払信託報酬	16,149,013
その他未払費用	118,070
(C) 純資産総額（A－B）	3,357,324,594
元本	2,281,721,069
次期繰越損益金	1,075,603,525
(D) 受益権総口数	2,281,721,069口
1万口当り基準価額（C／D）	14,714円

* 期首における元本額は1,938,884,303円、当作成期間中における追加設定元本額は507,886,618円、同解約元本額は165,049,852円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,714円です。

■損益の状況

当期 自2023年9月20日 至2024年3月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	80,140,838円
受取配当金	80,143,439
受取利息	4
支払利息	△ 2,605
(B) 有価証券売買損益	108,625,760
売買益	111,912,975
売買損	△ 3,287,215
(C) 信託報酬等	△ 16,267,083
(D) 当期損益金 (A + B + C)	172,499,515
(E) 前期繰越損益金	382,181,243
(F) 追加信託差損益金	520,922,767
(配当等相当額)	(546,074,342)
(売買損益相当額)	(△ 25,151,575)
(G) 合計 (D + E + F)	1,075,603,525
次期繰越損益金 (G)	1,075,603,525
追加信託差損益金	520,922,767
(配当等相当額)	(546,074,342)
(売買損益相当額)	(△ 25,151,575)
分配準備積立金	554,680,758

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	73,235,461円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	99,264,054
(c) 収益調整金	546,074,342
(d) 分配準備積立金	382,181,243
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,100,755,100
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,100,755,100
(h) 受益権総口数	2,281,721,069口

《お知らせ》

■信託期間の延長について

信託期間終了日を2028年9月15日から2050年9月16日に変更しました。

フレキシブル・インカム・ファンド
(円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス)

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型））はケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス）」を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

財政状態計算書
 2022年12月31日

US\$

資産

現金および現金同等物	70,759,083
ブローカーからの預託貸越	87,139
金融資産（損益通算後の評価額）	2,753,247,487
発行済み受益証券の未収金	28,163,250
受取勘定	39,897,930

資産合計

2,892,154,889
負債

金融負債（損益通算後の評価額）	24,361
償還済み受益証券の未払金	2,500,000
購入済み投資の未払金	19,237,660
未払手数料	1,657,560

負債合計（償還可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）

23,419,581
償還可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産

2,868,735,308

包括利益計算書

2022年12月31日に終了した年度

US\$

投資損益

金融資産（損益通算後の評価額）からの配当収益	28,563,375
現金および現金同等物からの受取利息	1,058,640
債券（損益通算後の評価額）からの受取利息	103,658,827
外国為替純損益	500,737
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による純損益	(489,526,641)

投資損益合計**(355,745,062)****費用**

受託会社報酬	261,652
運用会社報酬	12,801,529
管理会社報酬	1,046,606
保管会社報酬	745,503
為替運用会社報酬	197,692
為替計算代理人報酬	20,422
監査報酬	54,644
逆イールド費用	3,848
その他の報酬・費用	(99,976)

営業費用合計**15,031,920****金融費用控除前営業損益****(370,776,982)****金融費用**

分配金	(122,983,384)
-----	---------------

金融費用合計**(122,983,384)****税引前の償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産の増減****(493,760,366)**

源泉徴収税

(12,222,193)

税引後の償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産の増減**(505,982,559)**

投資明細表

2022年12月31日

銘柄名	評価額 (US \$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US \$)	純資産に 占める 割合(%)
ハイ・イールド社債			NEXSTAR ESCROW NXST 5 5/8 07/15/27	30,303,352	1.06
カナダ			PERFORMANCE FOOD PFGC 5 1/2 10/15/27	9,682,111	0.34
ALGONQUIN POWER AQNCN 4 3/4 01/18/2082	6,076,653	0.21	ROLLER BEARING RBC 4 3/8 10/15/29	19,147,940	0.67
ALGONQUIN POWER AQNCN 6.2 07/01/2079	9,644,550	0.34	SEAGATE HDD CAYM STX 4 7/8 06/01/27	12,217,473	0.43
AUTOMATION TOOLI ATSCN 4 1/8 12/15/28	11,248,359	0.39	SEAGATE HDD CAYM STX 4.091 06/01/29	8,168,568	0.29
EMERA INC EMACN 6 3/4 06/15/2076	44,979,484	1.58	SEALED AIR CORP SEE 6 7/8 07/15/33	26,759,154	0.94
イタリア			SEG HLD/SEG FIN SEGHLD 5 5/8 10/15/28	12,581,884	0.44
INTL GAME TECH IGT 5 1/4 01/15/29	13,526,295	0.47	SIRIUS XM RADIO SIRI 4 07/15/28	13,842,195	0.49
米国			SS&C TECH INC SSNC 5 1/2 09/30/27	13,943,394	0.49
ALBERTSONS COS ACI 7 1/2 03/15/26	28,852,423	1.01	STEVENS HOLDING AIMC 6 1/8 10/01/26	10,353,189	0.36
AMKOR TECH INC AMKR 6 5/8 09/15/27	28,978,051	1.02	TENET HEALTHCARE THC 4 1/4 06/01/29	20,041,152	0.70
ASHLAND INC ASH 6 7/8 05/15/43	13,478,125	0.47	TENET HEALTHCARE THC 6 1/8 10/01/28	5,873,580	0.21
AVANTOR FUNDING AVTR 4 5/8 07/15/28	14,916,661	0.52	TR OP / TR FIN TSE 5 3/8 09/01/25	27,834,694	0.98
BATH & BODY WORKS INC 6.875 11/01/2035	28,276,316	0.99	TRIPADVISOR INC TRIP 7 07/15/25	31,379,716	1.10
CCO HOLDINGS LLC CHTR 5 1/8 05/01/27	24,526,449	0.86	UNITED RENTAL NA URI 5 1/4 01/15/30	26,615,015	0.93
CNF INC CNW 6.7 05/01/34	11,661,238	0.41	VIASAT INC VSAT 5 5/8 04/15/27	27,525,770	0.97
DANA FIN LUX SAR DAN 5 3/4 04/15/25	10,300,534	0.36	VISTRA OPERATION VST 5 07/31/27	19,500,446	0.68
DANA INC DAN 4 1/4 09/01/30	10,821,184	0.38	WESCO DISTRIBUT WCC 7 1/4 06/15/28	6,743,732	0.24
DISH DBS CORP DISH 5 1/8 06/01/29	3,985,575	0.14	転換社債		
DISH DBS CORP DISH 7 3/4 07/01/26	7,141,433	0.25	米国		
DISH DBS CORP DISH 7 3/8 07/01/28	2,958,891	0.10	BANK OF AMER CRP BAC 7 1/4 PERP	13,982,640	0.49
ENCOMPASS HLTH EHC 4 3/4 02/01/30	5,337,318	0.19	JPMORGANCHASEFIN JPM 0 06/21/23	14,383,888	0.50
ENVIVA PRTNRS EVA 6 1/2 01/15/26	18,941,981	0.66	LIBERTY MEDIA LINTA 3 3/4 02/15/30	3,028,125	0.11
FIRST CITIZENS FCNCA Float PERP	9,856,392	0.35	LIBERTY MEDIA LINTA 4 11/15/29	7,473,942	0.26
FORD MOTOR CO F 5.291 12/08/46	17,539,028	0.62	MER LYNCH INT CV BAC 0.16 06/21/23	12,270,144	0.43
FORD MOTOR CRED F 7.35 11/04/27	16,716,124	0.59	NEXTERA ENERGY NEE 6.219 09/01/23	20,642,837	0.72
GAP INC/THE GPS 3 5/8 10/01/29	14,357,124	0.50	WELLS FARGO CO WFC 7 1/2 PERP	22,419,015	0.79
GAP INC/THE GPS 3 7/8 10/01/31	10,308,934	0.36	投資適格社債		
GCI LLC GCILLC 4 3/4 10/15/28	17,534,333	0.62	ベルギー		
GOODYEAR TIRE GT 5 1/4 07/15/31	34,827,044	1.22	ANHEUSER-BUSCH ABIBB 4.9 02/01/46	15,964,023	0.56
GREYSTAR REAL ES GRSTAR 5 3/4 12/01/25	10,638,484	0.37	ANHEUSER-BUSCH ABIBB 4.9 02/01/46	12,478,429	0.44
HORIZON PHARMA HZNP 5 1/2 08/01/27	15,636,308	0.55	カナダ		
IRON MOUNTAIN IRM 4 7/8 09/15/29	13,586,443	0.48	TRANSCANADA TRUS TRPCN 5 7/8 08/15/2076	14,008,071	0.49
LIBERTY MEDIA LINTA 8 1/2 07/15/29	6,138,885	0.22	フランス		
LIBERTY MEDIA LINTA 8 1/4 02/01/30	2,040,204	0.07	ARCELORMITTAL MTNA 7 10/15/39	9,446,743	0.33
NCR CORP NCR 5 1/4 10/01/30	18,934,082	0.66	ドイツ		
NCR CORP NCR 5 1/8 04/15/29	9,699,783	0.34	BAYER US FIN II BAYNGR Float 12/15/23	8,852,765	0.31
NEXSTAR BROADC NXST 4 3/4 11/01/28	2,422,344	0.09	ルクセンブルク		
			ARCELORMITTAL SA MTNA 6.8 11/29/32	9,428,670	0.33

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
ペルー					
SOUTHERN COPPER SCCO 5 7/8 04/23/45	10, 801, 068	0. 38	RAYMOND JAMES RJF 4. 95 07/15/46	8, 206, 636	0. 29
英国			SPRINT CORP S 7 1/8 06/15/24	10, 227, 067	0. 36
ASHTREAD CAPITAL AHTLN 4 05/01/28	18, 459, 653	0. 65	T-MOBILE USA INC TMUS 4 3/4 02/01/28	18, 006, 242	0. 63
ASHTREAD CAPITAL AHTLN 5 1/2 08/11/32	13, 518, 888	0. 47	T-MOBILE USA INC TMUS 5 3/8 04/15/27	4, 543, 033	0. 16
米国			TRANSCANADA TRST TRPCN 5. 6 03/07/2082	15, 774, 655	0. 55
ALEXANDRIA REAL ARE 4. 7 07/01/30	11, 856, 992	0. 42	VIACOM INC PARA 6 7/8 04/30/36	42, 060, 477	1. 48
ALLY FINANCIAL ALLY 5 3/4 11/20/25	14, 663, 582	0. 51	VMWARE INC VMW 4. 7 05/15/30	12, 194, 274	0. 43
ALTRIA GROUP INC MO 5. 8 02/14/39	17, 182, 392	0. 60	WARNERMEDIA HLDG WBD 3. 428 03/15/24	17, 286, 709	0. 61
ARES FIN III LLC ARES 4 1/8 06/30/51	10, 570, 572	0. 37	WARNERMEDIA HLDG WBD 5. 141 03/15/52	14, 804, 971	0. 52
AT&T INC T Float 06/12/24	25, 723, 451	0. 90	普通株式		
BROADCOM INC AVGO 3. 187 11/15/36	13, 869, 314	0. 49	オーストラリア		
BROADCOM INC AVGO 4 3/4 04/15/29	13, 235, 033	0. 46	BHP GROUP LTD-SPON ADR	15, 450, 450	0. 54
CELANESE US HLDS CE 6. 165 07/15/27	19, 689, 544	0. 69	フランス		
CENTENE CORP CNC 4 5/8 12/15/29	20, 355, 686	0. 71	SANOFI-ADR	14, 785, 679	0. 52
CHARTER COMM OPT CHTR 6. 484 10/23/45	26, 099, 888	0. 92	英国		
CHARTER COMM OPT CHTR Float 02/01/24	12, 448, 998	0. 44	ASTRAZENECA PLC-SPONS ADR	16, 461, 840	0. 58
CHENIERE CORP CH CHCOCH 5 1/8 06/30/27	19, 217, 980	0. 67	SHELL PLC-ADR	21, 680, 865	0. 76
CVS HEALTH CORP CVS 4. 3 03/25/28	12, 209, 399	0. 43	米国		
CVS HEALTH CORP CVS 4. 78 03/25/38	17, 596, 118	0. 62	APPLIED MATERIALS INC	13, 808, 484	0. 48
DELL INT / EMC DELL 6. 02 06/15/26	13, 598, 543	0. 48	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	7, 900, 110	0. 28
DELL INT / EMC DELL 6. 2 07/15/30	4, 520, 541	0. 16	BROADCOM INC	18, 555, 847	0. 65
DOMINION ENERGY D Float 09/15/23	12, 846, 424	0. 45	CARRIER GLOBAL CORP	13, 835, 250	0. 49
EDISON INTL EIX 5 3/4 06/15/27	7, 492, 092	0. 26	CIGNA CORP	17, 527, 886	0. 62
ENSTAR FINANCE ESGR 5 1/2 01/15/42	7, 937, 267	0. 28	CISCO SYSTEMS INC	20, 146, 956	0. 71
ENSTAR FINANCE ESGR 5 3/4 09/01/40	8, 875, 087	0. 31	CONOCOPHILLIPS	13, 652, 600	0. 48
GENERAL MOTORS C GM 6. 6 04/01/36	38, 898, 741	1. 37	DIAMONDBACK ENERGY INC	13, 171, 914	0. 46
GLP CAP/FIN II GLPI 5 1/4 06/01/25	9, 715, 913	0. 34	DUPONT DE NEMOURS INC	13, 753, 452	0. 48
GLP CAP/FIN II GLPI 5 3/8 04/15/26	8, 311, 470	0. 29	FREEMPORT-MCMORAN INC	7, 140, 200	0. 25
GMAC LLC ALLY 8 11/01/31	13, 410, 841	0. 47	GENERAL DYNAMICS CORP	14, 315, 947	0. 50
HAT HOLDINGS I HASI 6 04/15/25	17, 877, 753	0. 63	HEWLETT PACKARD ENTERPRIS	15, 165, 192	0. 53
HCA INC HCA 5 1/8 06/15/39	17, 761, 820	0. 62	HUMANA INC	20, 180, 286	0. 71
HP ENTERPRISE HPE 6. 35 10/15/45	66, 000, 010	2. 32	MCDONALD'S CORP	15, 258, 387	0. 54
LIBERTY MUTUAL LIBMUT 7. 8 03/15/37	3, 852, 006	0. 14	MEDTRONIC PLC	7, 041, 432	0. 25
MARRIOTT INTL MAR 4 5/8 06/15/30	16, 575, 879	0. 58	MICROSOFT CORP	15, 492, 372	0. 54
MCDONALD'S CORP MCD 4 7/8 12/09/45	24, 798, 729	0. 87	NEXTERA ENERGY PARTNERS L	13, 565, 219	0. 48
MORGAN STANLEY MS 6. 138 10/16/26	20, 107, 052	0. 71	NVENT ELECTRIC PLC	14, 486, 532	0. 51
NEXTERA ENERGY NEE 5. 65 05/01/2079	27, 473, 577	0. 96	PIONEER NATURAL RESOURCES	7, 422, 675	0. 26
NORDSTROM INC JWN 5 01/15/44	15, 555, 806	0. 55	PUBLIC SERVICE ENTERPRISE	14, 049, 211	0. 49
ORACLE CORP ORCL 4. 3 07/08/34	14, 586, 245	0. 51	PUBLIC STORAGE	21, 938, 877	0. 77
PARAMOUNT GLOB PARA 6 3/8 03/30/62	12, 002, 467	0. 42	RAYTHEON TECHNOLOGIES COR	14, 693, 952	0. 52
PHILLIPS 66 PSX 4. 65 11/15/34	23, 997, 066	0. 84	SEALED AIR CORP	7, 033, 080	0. 25
			SEMPRA ENERGY	20, 531, 721	0. 72

NWQグローバル厳選証券ファンド

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
VALERO ENERGY CORP	15,984,360	0.56	PNC FINANCIAL PNC Float PERP	10,165,898	0.36
WALMART INC	24,189,374	0.85	REINSURANCE GRP RGA 7 1/8 10/15/52	18,783,259	0.66
WELLS FARGO & CO	7,675,811	0.27	SEMPRA ENERGY SRE 4 7/8 PERP	13,350,460	0.47
優先証券			SYNCHRONY FINANC SYF 5 5/8 PERP	5,426,260	0.19
米国			VISTRA CORP VST 7 PERP	8,673,921	0.30
ALLY FINANCIAL ALLY 4.7 PERP	21,747,776	0.76	VISTRA CORP VST 8 PERP	32,682,010	1.15
ALLY FINANCIAL ALLY 4.7 PERP	7,836,808	0.28	WELLS FARGO CO WFC 5 7/8 PERP	22,835,622	0.80
AMERICAN EXPRESS AXP 3.55 PERP	10,864,627	0.38	WESTERN ALLIANCE WAL 4 1/4 PERP	12,022,880	0.42
ATHENE HOLDING ATH 6 3/8 PERP	11,946,635	0.42	ZIONS BANCORP ZION 7.2 PERP	765,900	0.03
ATHENE HOLDING ATH 6.35 PERP	4,943,002	0.17			
BANK OF AMER CRP BAC 6 1/2 PERP	7,419,669	0.26			
BANK OF AMER CRP BAC 6 1/4 PERP	14,757,502	0.52			
BANK OF AMER CRP BAC 6.1 PERP	9,985,407	0.35			
BANK OF AMER CRP BAC 6.3 PERP	11,916,285	0.42			
CAPITAL ONE FINL COF 3.95 PERP	7,078,334	0.25			
CAPITAL ONE FINL COF 5 PERP	5,306,400	0.19			
CHARLES SCHWAB SCHW 5 3/8 PERP	24,691,666	0.87			
CHS INC CHSINC 6 3/4 PERP	8,775,323	0.31			
CHS INC CHSINC 7 7/8 PERP	6,795,404	0.24			
CHS INC CHSINC 7.1 PERP	8,184,101	0.29			
CITIGROUP INC C 4 PERP	15,765,833	0.55			
CITIGROUP INC C 5.95 PERP	5,131,911	0.18			
CITIGROUP INC C 6 1/4 PERP	17,422,971	0.61			
CITIGROUP INC C 7 1/8 PERP	15,111,775	0.53			
DISCOVER FIN SVS DFS 6 1/8 PERP	9,260,563	0.33			
DOMINION ENERGY D 4.35 PERP	12,131,332	0.43			
EDISON INTL EIX 5 PERP	18,927,448	0.66			
ENSTAR GROUP LTD ESGR 7 PERP	5,050,849	0.18			
GEN MOTORS FIN GM 5.7 PERP	9,845,550	0.35			
GEN MOTORS FIN GM 6 1/2 PERP	5,165,494	0.18			
GOLDMAN SACHS GP GS 4.95 PERP	1,951,682	0.07			
GOLDMAN SACHS GP GS 5 1/2 PERP	9,767,513	0.34			
GOLDMAN SACHS GP GS 5.3 PERP	5,978,103	0.21			
JPMORGAN CHASE JPM 6 3/4 PERP	39,910,486	1.40			
JPMORGAN CHASE JPM 6.1 PERP	7,932,873	0.28			
KEYCORP KEY 6.2 PERP	16,332,678	0.57			
LAND O'LAKES INC LLAKES 7 1/4 PERP	1,501,889	0.05			
LAND O'LAKES INC LLAKES 7 PERP	746,394	0.03			
M&T BANK CORP MTB 5 1/8 PERP	2,069,229	0.07			
MORGAN STANLEY MS 5 7/8 PERP	1,793,585	0.06			
MORGAN STANLEY MS 6 1/2 PERP	4,512,175	0.16			
MORGAN STANLEY MS 6 7/8 PERP	1,961,005	0.07			
MORGAN STANLEY MS 7 1/8 PERP	13,239,840	0.46			
NATIONAL STORAGE NSA 6 PERP	4,951,588	0.17			
PNC FINANCIAL PNC 6.2 PERP	16,513,094	0.58			

<補足情報>

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2023年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2024年3月18日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2023年9月20日から2024年3月18日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
1219国庫短期証券 2024/6/24	10,999,769 千円		千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2024年3月18日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（19,906,253千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

作 成 期	2024年3月18日現在							
	区 分	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
						5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	11,000,000 千円	10,999,769 千円	54.4 %	— %	— %	— %	54.4 %	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2024年3月18日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	1219国庫短期証券	— %	11,000,000 千円	10,999,769 千円	2024/06/24	

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第19期 (決算日 2023年12月11日)

(作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

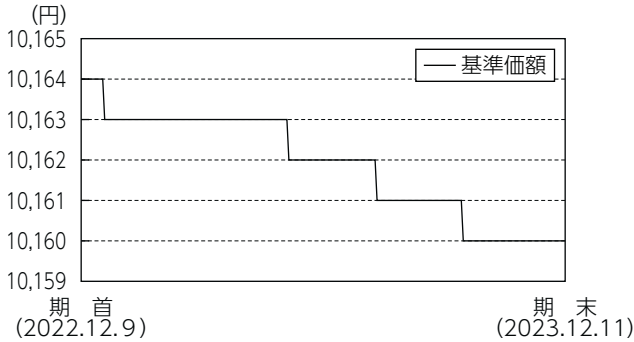
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2022年12月9日	円	%	%
	10,164	-	-
12月末	10,163	△0.0	-
2023年1月末	10,163	△0.0	-
2月末	10,163	△0.0	-
3月末	10,163	△0.0	-
4月末	10,163	△0.0	-
5月末	10,162	△0.0	-
6月末	10,162	△0.0	-
7月末	10,161	△0.0	-
8月末	10,161	△0.0	-
9月末	10,160	△0.0	-
10月末	10,160	△0.0	-
11月末	10,160	△0.0	-
(期末)2023年12月11日	10,160	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,164円 期末：10,160円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	19,535,266	100.0
投資信託財産総額	19,535,266	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	19,535,266,323円
コール・ローン等	19,535,266,323
(B) 負債	29,184,000
未払解約金	29,184,000
(C) 純資産総額(A - B)	19,506,082,323
元本	19,198,713,135
次期繰越損益金	307,369,188
(D) 受益権総口数	19,198,713,135口
1万口当り基準価額(C/D)	10,160円

* 期首における元本額は14,576,480,402円、当作成期間中における追加設定元本額は27,183,021,765円、同解約元本額は22,560,789,032円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ワールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	6,471,708,187円
ダイワ・グローバルIT関連株ファンド - A I新時代- (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIT関連株ファンド - A I新時代- (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワF Eグローバル・バリュー (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワF Eグローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	49,107円
世界水資源関連連立株式ファンド	984円
ダイワ/RICI® コモディティ・ファンド	2,074,249円
堅実バランスファンド - ハジメの一步-	82,551,045円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
iFreeETF NASDAQ100インバース	3,668,122,787円
iFreeETF NASDAQ100バレッジ	3,404,533,061円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース	1,690,708,296円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ	3,873,348,807円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	132,757円
リターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	52,987円
リターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	467,315円
リターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	12,784円
リターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	
ダイワF Eグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)	33,689円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース	9,817円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	982,368円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	9,652円
リターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,160円です。

■損益の状況

当期 自2022年12月10日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,497,360円
受取利息	7,522
支払利息	△ 6,504,882
(B) 当期損益金(A)	△ 6,497,360
(C) 前期繰越損益金	238,705,846
(D) 解約差損益金	△365,355,257
(E) 追加信託差損益金	440,515,959
(F) 合計(B + C + D + E)	307,369,188
次期繰越損益金(F)	307,369,188

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。